

研究課題：当院における 18 trisomy 患児の食道閉鎖症術後長期予後の検討

1. 研究の目的

18 trisomy 患児は生命予後不良の遺伝性疾患として知られています。近年、新生児医療技術の向上により、18 trisomy 患児の生存率は向上した報告が散見されます。しかし、食道閉鎖症を有する場合は生存率が低下する報告もあり、治療方針や術式の選択には余地があります。今回の研究を通して、18 trisomy 患児の食道閉鎖症に対する治療選択をする上で重要な因子が明らかとなれば、今後の術式選択に良い影響を与えられると考えられます。

2. 研究の方法

2015 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までに当院で食道閉鎖症を有する 18 trisomy 患児を対象に診療録を用いて、患者背景、術式、転帰について後方視的に検討します。

3. 研究期間

倫理委員会で承認を得られた日から 2028 年 12 月 31 日まで。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

診療録から、生まれたときの状態や体重、既往歴や併存疾患、手術時期や手術内容、および術後の経過を含めた合併症についての情報を調べまとめます。画像や動画（個人情報的一切含まない）が論文内や学会発表に掲載されることがあります。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター

研究責任者：外科 科長 川嶋 寛

研究分担者：外科 医長 高城 翔太郎

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2025年9月30日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）